

大石内藏之助 半井桃水

第十一回

此の時右京太夫は、内匠頭の死装束を家來に持たせて入つて來た。まだお話を御座らうが、檢使下總守、時刻移るごと度々の催促、是非に心得申した。傳八郎殿一存をもつて、家來の者へ一目たりとも、對面致す事が叶ひ、今生の喜び之に過ぎず、今は早急に置く事も御座らぬ。世話を蒙り、忝けなう存じ申す。返すべくも御當家には一方ならぬお町舎に挨拶して、直様支度を整へた。源吾右衛門、はやさらば。

千萬無量の思ひを籠めて、主從じ見れば庭前の櫻の下に、小高い臺を並べて、三疊程の疊を布き、白布をもつて上を蔽ひ、三面に幕引廻る。雨隣子を掛けた有様、傳八郎が冷罵した通り、花の下の腰掛茶屋にも、紛ぶばかり相手未であった。是を見た内匠頭は、誰に向つていふでもなく、斯様な處で、切腹仰付けられたか。これ怒りを帶びて呟く。此の時早小書院の正面には、檢使庄田下總守、右手には多門傳八郎、左手には大久保權右衛門、少し下つて田村右京太夫其の外役人警固の者嚴重に控へて居たが、誰一人之に答へる者はなかつた。

内匠頭は檢使に向ひ、懇懃に一禮して、御檢使のお役目、御苦勞千萬切腹用意致して御座る。夫に付ては、一切の上意の趣、忝けなくお受け仕り、御檢使の名前には、吉良上野介は如何相存じ奉る。内匠頭の死體は、田村家に於て、吉良上野介は如何相存じ奉る。内匠頭生前に、ちよて承はり置きた。

此の時早小書院の正面には、檢使を以つて、名残の酒を一獻酌み、白木の二寶知刀を預託し、御檢使の上から膝に立つて御案内されう。いざ御案内されう。花よりも相手はまた春の名残をいかない。内匠頭は料紙硯を乞ひ、一風さうに立つがしら、四五寸もかき切つて、切れ設けの席へ就き、古法の通り土器にこやせむ。此辭世の一言を承り、御檢使に代つて指揮した。

下されうならば、忝けなく存じます。其の儀はお望みに任せ申す。正に内匠頭は料紙硯を乞ひ、一風さうに立つがしら、四五寸もかき切つて、切れ設けの席へ就き、古法の通り土器にこやせむ。此辭世の一言を承り、御檢使に代つて指揮した。

勘左衛門、建部喜六駕付けて死體を受取り、其の夜右京太夫の二人に片岡源吾

右衛門、磯貝十郎左衛門、田中真四郎、中村清右衛門差添うて、芝高輪の

光院殿前より府朝敵太夫吹毛立矢利

奉注進候、恐懼謹言

三月十四日已下刻

片岡源吾右衛門高房花押

大石内藏之助破

大石内藏之助

良子女王御自筆の
目出度き離の畫

東宮御渡歐の桃の節句に
杉浦重剛翁に賜はらん

日本近信

「東宮御婚約御變更あらせられず」

▲病床の杉浦翁

感泣

す

△長へに家寶として傳へむ
良子女王殿下から病中の杉浦重剛翁

掛軸を賜るべく目下熱心に彩管を

揮はせ居らるゝ旨を同翁に傳へく

府下淀橋町角筈の同邸を訪うた所

折柄兩三日來風邪の氣味

にて臥床中

△野田醤油主收監され

浅野總一郎氏も審問▽

△横濱疑獄事件に關する横濱檢事

院下今回御事は當然の御事とは申

ね尙微臣に對し病氣御見舞として

御使を以て厚いお言葉や御見舞品等

本元茂木佐平治氏收監さる檢舉の火

式を下し賜はつた上御自身彩管をお執

の手は更に各汽船會社にも及び東洋

汽船會社の關係者數名も檢舉され

長淺野總一郎氏本日重ねて檢事局に

召喚審問を受けたり

△横濱疑獄開展

狂介の昔に還る▽

△一切を抛つて

狂介の昔に還る▽

△新宮内次官

任靜岡縣知事

道岡秀彦

△松方侯持病重態

任宮内次官

關屋貞三郎

△東洋製鐵

△八幡製鐵合併

△北九州活氣附

△松方侯持病重態

△新宮内次官

△松方侯持病重態

△新宮内次官

△新宮内次官</p

● ブラジルの農業は

何と云ふても珈琲が基礎

◇今は苦しいが将来が有望◇

在伯同胞の元老上塚周平氏が久し振る云々

りで病氣療養旁々出発されたので記者

者はお見舞に兼ねて敬意を表すべく

氏を訪ぶと、氏は不自由な目で記者

を透し見てマア能く来て夷れたと愛

相よく語り出す中ノロエスティ方

面の同胞植民地に關し大體左の如く

語られた

▲不景氣云へば、そは世界一般だ

と云ふ人もあるが、ノロエスティ方面

も御多聞に波れず仲々苦しいやう

である、尤も苦しいと云つても食糧

は自作自給であるから、他處で見る

やうな生活難はないが、植民地經營

として尚ほ智識も淺く経験も乏しか

つたが爲めに色々へんな事を行う、

是が今日の困難を惹起する原因となつ

たやうである

▲例へば日本人の植民地經營法をし

てマンチメントを農業の基本に置き

そして三人位の家族で一年中に十

四五アルケレスも稼いで、一氣に米

を播き、棉を作る云ふ有様である

所が初年は旨く行くとしても、二年

目三年目になると草が段々生へるし

人手は足りなくなる、勢ひ何うして

も困難に陥らざるを得ないのである

▲其處へ行くと外人の遣り方は全然

異ふ、即ち年を逐つて漸次拓いて行

くと云ふ遣り方である、夫れにブラン

ジルの農業は何と云つても珈琲を基

礎としなければ嘘だ、米や棉は年に

依つては大に儲かる、がどちらかと

云へば投機的で危険である、故に僕

の経験した所に依れば、珈琲を土臺

が棉花及培植業視察團を伯國に派遣

する事に就きては前回本紙の報道

したる處なるが同視察團は倫敦の富

豪にしてマンチエスター市に多數の

工場を有するピカース氏を團長とし

て去る二日リオ入港の『ラバンチ

ヤ』號にて來伯したり

調査にあり、伯國棉花に關しては嘗

てバーナード氏等あり

● 萬國紡績協會派遣の

視察團來伯

● 日本貿易會社の

支店合計

一一一、四五二

八六一、九一四

三八、七六四

七二、六八八

平均一家族純益金一、五四

玉蜀黍

羅(馬鈴薯、玉葱其他)二、四〇二

豚

鶴

八六一、九一四

三八、七六四

八六一、九一四

三八、七六四

八六一、九一四

三八、七六四

八六一、九一四

三八、七六四

八六一、九一四

力之が相絶を圖りつゝあり

發病の最初は一月末にて二月中オザ

スコに於て牡牛の斃死せるもの十五

頭に及びたるが三月コチアにも疑は

しき斃死牛を發見したり

此間オザスコ居殺場監督のため特に

同地へ出張せる聖市廳及聯邦政府の

獸醫は頻りに之が死因を研究したる

事満足なる結果を得遂に聖州醫學

校教授の援助を得て種々試験の末三

月二十九日愈々牛ベストに相違なき

事を確認するに至れり、茲に於て各方面

したる處なるが同視察團は倫敦の富

豪にしてマンチエスター市に多數の

州統領ワシントン、ルイス氏は去る

ビカース氏は其旅行の目的に就き

工場を有するピカース氏を團長とし

て去る二日リオ入港の『ラバンチ

ヤ』號にて來伯したり

を巡檢し、血精準備の爲め研究所

を至急同地に設立する事及左の諸項

きびたるが品質の優良さ他の棉

オの新聞記者に左の如く語れり

テ英國に比し歐洲への運輸の便は英

國の主なる目的は伯國經濟狀態の

現状の主なる目的は伯國棉の必要を感せ

はしき生を差押へ撲殺する事

は爲め埠市より多數巡査の流行地駐

在を命ぜられたり

を至急同地に設立する事及左の諸項

きびたるが品質の優良さ他の棉

オの新聞記者に左の如く語れり

テ英國に比し歐洲への運輸の便は英

國の主なる目的は伯國經濟狀態の

現状の主なる目的は伯國棉の必要を感せ

はしき生を差押へ撲殺する事

は爲め埠市より多數巡査の流行地駐

在を命ぜられたり

を至急同地に設立する事及左の諸項

きびたるが品質の優良さ他の棉

豆 玉蜀黍

羅(馬鈴薯、玉葱其他)二、四〇二

豚 鶴

平均一家族純益金一、五四

● 日本貿易會社の

山本小平兩重役來聖

大阪商船のバナマ丸は一昨日ブエ

ノスよりサンクトペテルブルクへ再入港する十五

日頃同港出帆リオに立寄り巴拿馬經

局を命ぜられたり

● 復讐戰で勝を占めた

パナマ丸人港

大阪商船のバナマ丸は一昨日ブエ

ノスよりサンクトペテルブルクへ再入港する十五

日頃同港出帆リオに立寄り巴拿馬經

局を命ぜられたり

● 小作地提供

女飛行家

山本小平兩重役來聖

大阪商船のバナマ丸は一昨日ブエ

ノスよりサンクトペテルブルクへ再入港する十五

日頃同港出帆リオに立寄り巴拿馬經

局を命ぜられたり

● 及歩合作人募集

莊年野球組

大阪商船のバナマ丸は一昨日ブエ

ノスよりサンクトペテルブルクへ再入港する十五

日頃同港出帆リオに立寄り巴拿馬經

局を命ぜられたり

● 地肥沃、米作に最好適地の現

在居住の実驗なり無水質良好健康地現

在居住の実驗なり無水質良好健康地

薯畑から珈琲園の同胞

薯成金は決して空想ではない◆

卷之三



り振動活の人物見るけに煙薯鉢馬

大阪商船會社定期船

日本郵船會社 船丸

ANTUNES DOS SANTOS & COMP.
AGENTES DAS COMPANHIAS
NIPPON YUSEN KAISHA - OSAKA SHOSEN KAISHA

NIPPON YUSEN KAISHA : OSAKA SHUSEN KAISHA

四月上旬 プエノスより
リオへ寄港 日本へ向ふ
但し三等客は御断り申候

(Caixa Postal, 237)
Rua Libero Badaro 93, S. Paul

全途里續

日本金に引直相場は當分値貿參ミル二百五十五レースにつき日本金壹圓
日本内地郵便爲替料、書留料、其他總て當店に於て負擔いたし即ち全く無手數料にて御鄉里の受取人へ送り届け申上候
金子は現金封入、郵便爲替又は銀行小切手にて當店へ御送り被下度猶ほ横濱正金

金送里郷
三、
店に於て負擔いたし即ち全く無手數料にて御郷里の受取人へ送り届け申上候
金子は現金封入、郵便爲替又は銀行小切
手にて當店へ御送り被下度猶ほ横濱正金
銀行勘定として Banco Commercial do Br
asil de São Paulo へ御拂込被下候ても
差支無之候
四、何れにしても送金申込書は必ず忘れずに
當店へ御送り被下たく候

◆預金定期預金利息六ヶ月以上年六分
◆伯貨定期預金利息六ヶ月以上年五分五厘
◆伯貨當座預金（小口）壹ヶ年以上年六分
◆預送金用紙は御請求次第直に御送り可致御不審
◆の點は御遠慮なく御問合せ被下度候
◆預金通帳は書留郵便にて御送付可申上候間御申
◆込の際最寄郵便局御指定相成候はゞ御便宜に有
之候

横濱正金銀行支店